

もっと知りたい

武者小路実篤

かんとうだいしんさい

関東大震災から100年

1923年9月1日 11時58分

関東大震災 発生!

わあ！電柱がボキッて折れている。



こっちは橋がぐわぐわだ。



小川町交差点

東京大震災の惨状

震災絵葉書「東京大地震の惨状 小川町交差点」1923(大正12)年9月 今の東京・千代田区の神田小川町



吾妻橋

東京大震災の惨状

震災絵葉書「大震災の実況 吾妻橋」1923(大正12)年9月 東京・台東区と墨田区を結ぶ橋で、下を流れるのは隅田川

これは100年前に関東地方が大地震に見舞われた時の写真だ。東京、神奈川、千葉を中心に大きく揺れて、火災や土砂崩れ、津波もあったのだよ。



ぼくは画家の河野通勢、武者さんの友人です。
 震災後の東京と神奈川を見て歩いて、町や人々の様子をスケッチブックに鉛筆で記録しました。そして、その絵をもとに銅版画(金属の板をひっかいて作る版画)を制作したのです。



河野通勢
 「アア、神も仏も無キカ！」
 1923(大正12)年9月14日
 紙・銅版



「母何処？」9月14日



「食糧 是如 到来」9月28日

お米が詰まった俵が届いたところです！後ろは京都市がひらいた診療所ですね。こんなふうには、地震にあった人々を助けようと全国から支援が集まりました。海外からもテントや薬、寄付金などが届けられたそうです。

お昼の2分前に地震が発生したので、料理に火を使っている家も多く、あちこちで火事がおきました。さらに、この日は強風で、東京は燃えやすい木の家が隙間なく建っているの、みるみる火災が広がったのです。



地震により引き起こされた火災や土砂崩れ、津波などの災害をまとめて「震災」と言います。

▶発生した日時

1923(大正12)年9月1日(土) 11時58分

▶発生した場所(震源)

神奈川県西部(相模湾)・深さ23キロメートル

▶地震の大きさ

マグニチュード7.9(推定)

▶人が感じた揺れの大きさ

震度6(当時)

▶犠牲者(命をおとした人)

およそ105,000人、そのうち火災の犠牲者は90,000人

▶壊れたり焼けたりした建物

およそ370,000棟

*内閣府防災情報・気象庁特設サイトより